

保育園適正配置スケジュール(案)に対する保育園関係者からの意見

説明会 (19:00～)	10月10日	西布施保育園	(～20:20)
	10月15日	片貝保育園	(～20:00)
	10月21日	松倉保育園	(～19:50)
	10月30日	野方保育園	(～20:10)

意見の概要

- 1 休園するかどうかの判断となる平成29年度当初の園児数が「定員の半数」かつ「20人以下」とならなかった場合、保育園は継続するのか。
- 2 平成29年度当初以前に、園児数が判断基準値以下になった場合、休園の時期は前倒しになるのか。
- 3 保育園の統廃合問題は、小学校の統廃合問題とは全く別の問題である。
- 4 保護者が安心して子どもを育て、安心して勤務できる環境が重要。保育園の存続を願う。
- 5 小学校が統合により地区からなくなり、さらに保育園までなくなると、地区の過疎化に拍車がかかる。このような状況では、次の子どもを産むことに不安を感じる保護者もいる。
- 6 小学校・保育園が地区からなくなってしまうと、今後新しく地区に住もうと考える人はいないと思う。
- 7 地区に保育園がなくなると、両親共働き家庭が多い中で、送迎等の保護者の負担が重くなる。これ以上子どもを作らないということに繋がりがねない。
- 8 仕事の都合により保育園の開所・閉所時間に間に合わないため送迎を祖父母に依頼しているが、病気その他の原因により依頼できなくなった場合、現在の保育園には預けることが困難になる。
- 9 自然環境豊かで、施設も新しい保育園に、他の地区から来てもらうことはできないのか。
- 10 地区が高齢者だけの地区になるのではないかと不安である。
- 11 保育士の処遇の改善をすべきである。
- 12 小規模園の良さを感じているので、統合案は非常に残念である。
- 13 山間部で統合園を作るなど、他に案はないのか。
- 14 新制度の内容がよく理解できない。